

# 令和3年度 中高生 NPO 体験セミナー実施報告書

令和3年9月8日  
菊川市市民協働センター



## ■ 目次

|                       |         |
|-----------------------|---------|
| I. 中高生 NPO 体験セミナーについて | P.2     |
| II. 各体験セミナー紹介         | P.3~10  |
| III. 学校・セミナー別参加人数一覧   | P.11~12 |
| IV. 参加者アンケート結果        | P.12~27 |
| V. 実施団体アンケート結果        | P.27~30 |
| VI. 所感                | P.30    |

## I. 中高生 NPO 体験セミナーについて

### 1) 実施目的

次世代を担う中高生に NPO 活動の体験の場を提供し、様々な社会貢献について知ってもらうことをセミナーの目的とする。また、中高生が地域社会に参画する機会を創出することで、若者参加型の地域づくりの一助とすることも狙いとする。

次世代を担う中高生が NPO 活動を体験することで、社会貢献について考えを深めてもらうことを目的とする。また、若者参加型の地域づくりの一助となることも意図する。

### 2) 期待される効果

<中高生>

NPO 活動を体験することによって、地域における課題を知ることができる。また、自己の新たな可能性に気づき、職業選択の幅を広げることができる。

<NPO 法人>

専門性や先駆性を活かした学習や体験を盛り込んだ内容を実施することで、次世代の人材育成の一助を担う。

### 3) 実施概要

|       |   |
|-------|---|
| 開催期間  | 7月20日(火)～8月28日(土)<br>※期間内で各NPO法人が実施日時を設定する。 |
| セミナー数 | 14セミナー                                      |
| 申込人数  | 延べ 148人                                     |
| 実施人数  | 延べ 110人                                     |
| 主催    | 菊川市市民協働センター                                 |
| 共催    | 菊川市内NPO法人 13団体                              |

### 4) 昨年との変更点

#### a. 新型コロナウイルス感染症への対応

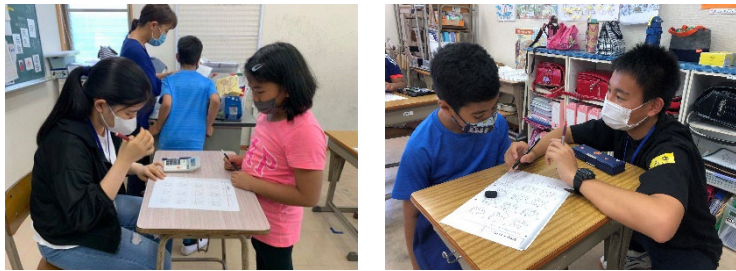
開催期間を中高生の夏季休暇中の、7月20日から8月28日に実施した。また、時間は2～4時間程度に抑え、健康調査票の提出など、感染防止対策の徹底に努めた。

#### b. きくがわ高校生まちづくりスクール受講生徒の参加

受講生徒がまちづくりに生かす実現可能なプロジェクトを提案・実施するために、地域課題に取り組むNPOでインターンシップを体験した。

## II. 各体験セミナー紹介

### 1) 外国人の子どもたちへの日本語指導サポート

|        |   |
|--------|---|
| 実施団体   | NPO 法人静岡県教育フォーラム<br>[活動内容]<br>外国人の子どもたちに日本語や算数の指導を行い、休み時間に一緒に遊んで交流を図る   |
| 日時     | 7月20日(火)～8月6日(金) 10:00～12:00  |
| 場所     | 虹の架け橋 菊川・小笠教室   |
| 参加者数   | 32名(中学生4名、高校生28名)   |
| 体験内容   | 外国人の子どもたちへの学習サポート<br>                          |
| 参加者の声  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語やカタカナ、数学を外国人の子どもたちに教える大変さを知ることができた。</li> <li>・子どもたちに日本語を教えるのは思っていたよりも難しかった。</li> </ul> |
| NPO の声 | 日本語でコミュニケーションをとるためにどう伝えたら良いかを体感してもらえた   |

### 2) KFC CUP (サッカー大会)

|      |  |
|------|--|
| 実施団体 | NPO 法人 KFC<br>[活動内容]<br>静岡県内のチームを招待する CUP 戦で、記録やチーム誘導などの本部運営の補助を実施 |
| 日時   | 7月24日(土)～8月8日(日) 9:00～12:00  |
| 場所   | 炭焼きさわやか菊川グラウンド   |
| 参加者数 | 5名(中学生1名、高校生4名)  |
| 体験内容 | サッカー大会運営補助   |

|        |   |
|--------|---|
|        |                             |
| 参加者の声  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営をしてくださっている人の大変さを知ることができた</li> <li>・子どもたちががんばる姿を見て元気をもらった</li> </ul> |
| NPO の声 | 今後も中高生との関わりを持っていきたい   |

### 3) 竹の伐採と伐採竹の活用（粉碎）

|        |  |
|--------|--|
| 実施団体   | NPO 法人里山再生クラブ<br>[活動内容]<br>里山の森を守る保全活動の一環として、竹の伐採・粉碎作業を体験  |
| 日 時    | 7月31日（土）9:00～11:30   |
| 場 所    | 菊川市市民協働センター、東横地の竹伐採地   |
| 参加者数   | 8名（高校生8名）  |
| 体験内容   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山でのノコギリを使った竹の伐採</li> <li>・切った竹を竹粉にするための粉碎作業の手伝い</li> </ul>  |
| 参加者の声  | ・竹は土にかえりづらく、竹を細かく粉碎すれば様々な用途として生かせると学んだ。  |
| NPO の声 | 初めて体験したのこぎりの竹伐採、竹粉作りと活用に興味を示した点から野外体験セミナー等の充実を考えたい   |



#### 4) 災害救助犬の訓練体験

|        |   |
|--------|---|
| 実施団体   | 認定 NPO 法人災害救助犬静岡<br>[活動内容]<br>災害で行方不明になった人を探す災害救助犬の育成のために、要救助者役を体験  |
| 日時     | 7月31日(土)、8月7日(土)、8月14日(土) 15:00~17:00   |
| 場所     | 災害救助犬静岡訓練場  |
| 参加者数   | 27名(高校生26名、中学生1名)   |
| 体験内容   | 犬とのふれあいと要救助者の体験<br>             |
| 参加者の声  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険な場所でも自ら探しに行っているのすごかった</li> <li>・犬種や性格によって探し方が違うことを知って面白いと思った</li> </ul> |
| NPO の声 | 色々なタイプの学生さんが居たが、皆さん良い子たちはかりで、親しみを持って接してくれた  |

#### 5) 馬とのふれあい体験会(お仕事体験)


|      |   |
|------|---|
| 実施団体 | NPO 法人うまのあと<br>[活動内容]<br>馬の手入れや餌やり、馬小屋の清掃を通して、自然と人間が共生する大切さについて学ぶ |
| 日時   | 7月31日(土) 15:30~17:30 (8月21日は中止)                                   |
| 場所   | 倉沢ラブリ na 牧場   |
| 参加者数 | 4名(高校生4名) (申込:高校生6名、中学生1名)  |
| 体験内容 | 馬の手入れ   |

|        |  |
|--------|--|
|        |                                      |
| 参加者の声  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・短い時間ではあったが、とても癒された</li> <li>・相手の心を読み取ることは、馬だけでなく人間関係においても大切なことだと学んだ</li> </ul> |
| NPO の声 | 参加者は菊川市が好きだ！暮らしやすい！と言っていた。地元愛のある若い世代が育っていると感じた   |

## 6) 新聞記者と一緒に菊川を発信しよう！

|        |   |
|--------|---|
| 実施団体   | NPO 法人アートコラールきくがわ<br>[活動内容]<br>新聞記者から取材のコツを教わり、中高生 NPO 体験セミナーの現場を取材し、記事にして発信                                    |
| 日時     | 7月31日(土) 14:00~18:00  |
| 場所     | 市民協働センター、倉沢ラブリ na 牧場  |
| 参加者数   | 9名(高校生7名、中学生2名)   |
| 体験内容   | 取材の仕方と文章の書き方<br>            |
| 参加者の声  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・取材に行ってから記事を書くことはなかなかないので、貴重な体験ができた</li> <li>・今後文章を書くときに活かせそう</li> </ul> |
| NPO の声 | 中高生の生き生きと地域で活動する姿が見られた。積極的に地域に関わりたいと思う中高生に元気をもらえた   |

## 7) 障がい者と防災について考えよう

|        |  |
|--------|--|
| 実施団体   | NPO 法人 COCO<br>[活動内容]<br>障がい者と防災グッズの点検・整理をしながら、災害から身を守るために何をすればよいのか考える                                       |
| 日時     | 8月2日(月) 10:00~12:00  |
| 場所     | となりの COCO  |
| 参加者数   | 4名(高校生4名)  |
| 体験内容   | 自家発電機の操作確認、防災グッズの点検・整理<br> |
| 参加者の声  | ・障がい者の目線から考えることはなかったので貴重な体験となった<br>・防災の事、障がい者の事を知ったので、困っている人がいたら助けたいと思った                                     |
| NPO の声 | まじめな態度で作業に向き合っていた。一回のみの出会いは心残りを感じてしまう。何か、手立てがあれば良いのだが  |

## 8) 次世代人材育成講話 ～傾聴の理解を深める～

|      |   |
|------|---|
| 実施団体 | NPO 法人傾聴・お話しボランティア<br>[活動内容]<br>傾聴やボランティアについての基本を学び、人との関わり方について考えを深めていく |
| 日時   | 8月6日(土) 9:15~11:00  |
| 場所   | 特別養護老人ホーム 松秀園   |
| 参加者数 | 19名(高校生9名、中学生10名)   |
| 体験内容 | ボランティア・傾聴に関する講話   |

|        |  |
|--------|--|
|        |  |
| 参加者の声  | ・聴く時の7つのポイント、ボランティアの心得などは今からでも活かそうだと思った  |
| NPO の声 | 参加する学生が積極的。気付いたことは行動（実践）している   |

### 9) せんがまちで畔草刈りと生き物教室を体験しよう

|        |  |
|--------|--|
| 実施団体   | NPO 法人せんがまち棚田倶楽部<br>[活動内容]<br>400年の歴史を伝える棚田「せんがまち」で、畔草刈りと貴重な生き物を知る生き物教室を体験する         |
| 日時     | 8月7日（土）9:30～11:30  |
| 場所     | 倉沢の棚田「せんがまち」（集合：上倉沢公会堂）  |
| 参加者数   | 5名（高校生4名、中学生1名）  |
| 体験内容   |  |
| 参加者の声  | ・想像していたよりも棚田のスケールが大きく驚いた。色々な生物を観察することができた  |
| NPO の声 | 参加者は嫌がることなく黙々と作業した。生き活きと生物と接していた。全体的に楽しそうだった   |



## コロナ禍により中止した体験セミナー

### 10) デイサービスで世代間交流

|      |   |
|------|---|
| 実施団体 | NPO 法人小規模多機能ホームようこそ<br>[活動内容]<br>施設を利用している高齢者との交流を深めながら、施設内での日常生活のサポートを行う |
| 日時   | 8月12日(木) 13:30~16:30  |
| 場所   | 小規模多機能ホーム ようこそ  |
| 申込者数 | 6名(高校生4名、中学生2名)   |

### 11) 保育の職場体験

|      |  |
|------|--|
| 実施団体 | NPO 法人かすみ草<br>[活動内容]<br>乳幼児保育では保育士の仕事を体験し、学童保育・学習塾では小学生との活動を通して勉強の教え方を学ぶ。全体を通してコミュニケーションの大切さについて考えを深めていく |
| 日時   | 8月17日(火)、8月18日(水) 8:30~11:30   |
| 場所   | 生活支援施設かすみ草   |
| 申込者数 | 6名(高校生6名)  |

### 12) ブラジル人の子どもの母国語教室

|      |   |
|------|---|
| 実施団体 | NPO 法人ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会<br>[活動内容]<br>日本の学校に通っているブラジル人の子どもの母国語(ポルトガル語)教室と一緒に学習する |
| 日時   | 8月21日(土)、8月28日(土) 8:00~10:00  |
| 場所   | ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会   |
| 申込者数 | 4名(高校生4名)   |

### 13) ブラジル人の子どもの日本語教室

|      |   |
|------|---|
| 実施団体 | NPO 法人ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会<br>[活動内容]<br>ブラジル人の子どもたちが日本語を学習する様子を見学し、授業をサポートする |
| 日時   | 8月23日(月)～8月27日(火) 13:30～16:30   |
| 場所   | シ・イ・ソヒゾ・デ・クリアンサブラジル人学校  |
| 申込者数 | 14名(高校生14名)   |

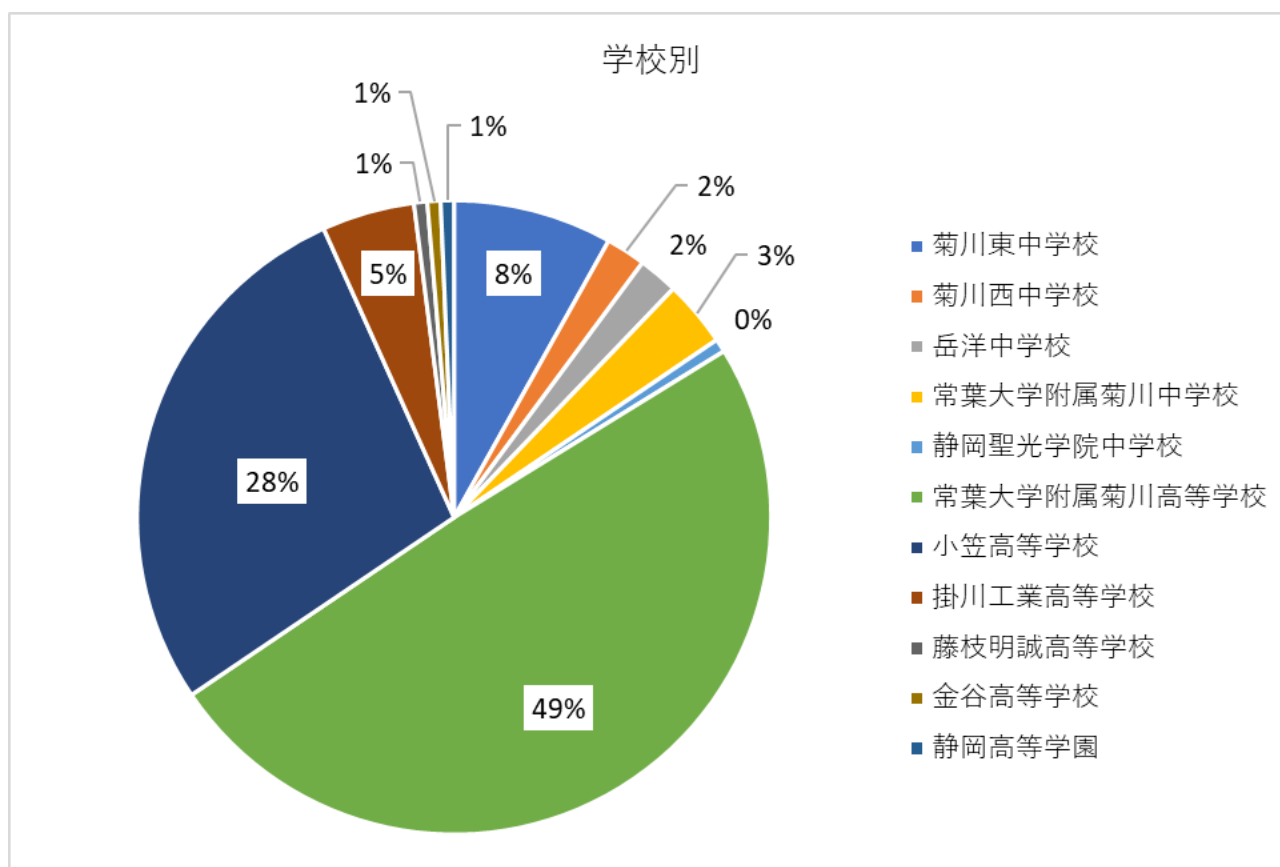
### 14) ブラジル人の子どもの語学学習をサポート

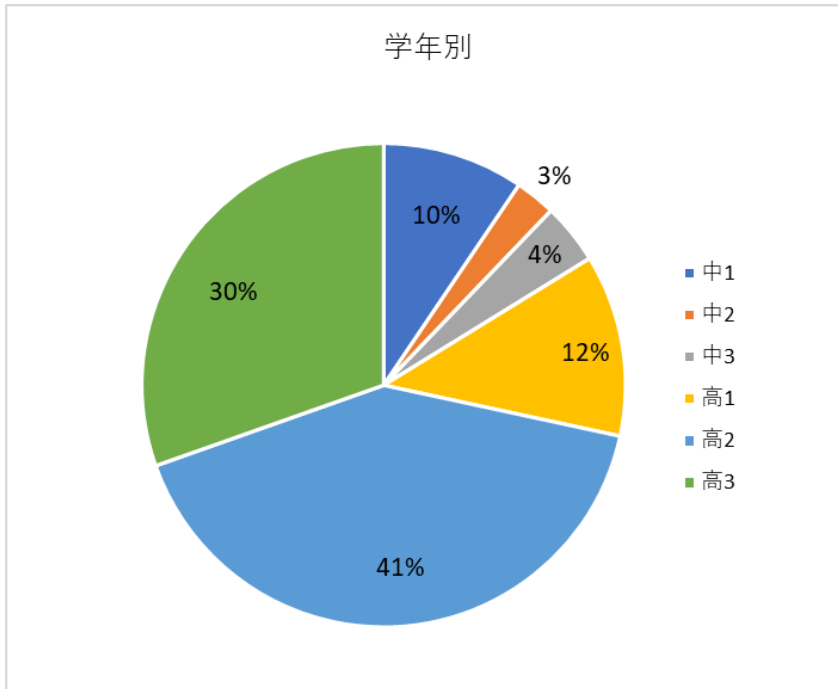
|      |   |
|------|---|
| 実施団体 | NPO 法人ミライ<br>[活動内容]<br>日本に住むブラジル人の子どもたちへの語学の授業をサポートする |
| 日時   | 8月25日(水)～8月26日(木) 9:30～11:30                          |
| 場所   | NPO 法人ミライ   |
| 申込者数 | 8名(高校生8名)   |

### Ⅲ. 学校・セミナー別申込み人数一覧

#### 1) 学校別申込み人数一覧

| No. | 学校           | 中1  | 中2 | 中3 | 高1 | 高2 | 高3 | 合計 |
|-----|--------------|-----|----|----|----|----|----|----|
| 1   | 菊川東中学校       | 12  |    |    |    |    |    | 12 |
| 2   | 菊川西中学校       |     |    | 3  |    |    |    | 3  |
| 3   | 岳洋中学校        | 1   |    | 2  |    |    |    | 3  |
| 4   | 常葉大学附属菊川中学校  | 1   | 3  | 1  |    |    |    | 5  |
| 5   | 静岡聖光学院中学校    |     | 1  |    |    |    |    | 1  |
| 6   | 常葉大学附属菊川高等学校 |     |    |    | 5  | 51 | 17 | 73 |
| 7   | 小笠高等学校       |     |    |    | 13 | 5  | 23 | 41 |
| 8   | 掛川工業高等学校     |     |    |    |    | 4  | 3  | 7  |
| 9   | 藤枝明誠高等学校     |     |    |    |    | 1  |    | 1  |
| 10  | 金谷高等学校       |     |    |    |    |    | 1  | 1  |
| 11  | 静岡高等学園       |     |    |    |    |    | 1  | 1  |
| 小計  |              | 14  | 4  | 6  | 18 | 61 | 45 | -  |
| 総計  |              | 148 |    |    |    |    |    |    |





#### IV. 参加者アンケート結果

##### 「中高生 NPO 体験セミナー」参加者アンケート

1. 本日のセミナーに参加しようと思ったきっかけや理由を教えてください。

##### ー教育フォーラムー

- ・人に教えるということをしたかった
- ・将来、教育系の仕事に就きたいと思っている
- ・高校生菊川まちづくりスクールに参加し、教育現場における課題や取り組みについて知りたかった
- ・将来人の役に立ちたいと思っているので、少しでも今後に生かせると思った
- ・ボランティアをしてみたかった
- ・勉強を教えることが好き
- ・自分の知り合い以外の知らない方の役に立ちたい
- ・コロナでどこにも出かけられない夏休みをボランティアで充実させたい
- ・人の役に立ちたい。看護師を目指しているので今後の進路のための良い経験になると思った
- ・看護師を目指しているので、人との関わりを持ち、人のことを知りたいと思い、ボランティアに参加した。自分に何ができるかを見つけ、進路に生かしたい
- ・外国の子供たちと触れ合いたい
- ・外国人と触れ合ったことがないので、話してみたい



- ・チラシをもらって面白そうだった
- ・外国に興味があったからいろんな国の子と関わってみたい
- ・外国の子供たちが一生懸命がんばる姿を見てみたかった
- ・人に教える体験をしてみたい
- ・地域のためになることをしたい
- ・学校に掲載されていたパンフレットを見て、参加したいと思った
- ・子供たちとたくさん触れ合ってみたかった
- ・前回大人の人たちに日本語を教えたときとてもやりがいがあった
- ・日本語を教えてみたかった
- ・学校にボランティアの案内の紙があって、気になった
- ・虹の架け橋の方が学校に来て、お話を聞いたときに外国の子供たちと話してみたいと思った
- ・ボランティアにもともと興味があり、外国の子供たちとも接したいと思った
- ・高校に入学してからボランティアをしてこなかったので、高校のうちに経験しておきたいと思った。普段外国人の小学生の子と関わることもないので、貴重な機会だと思った
- ・虹の架け橋が講師として、学校に来てくださった時に外国から来た日本語を学びたいという意欲のある子どもをサポートしていると聞き、自分も参加してみたいと思った
- ・子供が好きで、交流をしたかった
- ・子供が好きでなかなか外国人の子と接する機会がないのでいい機会だと思った
- ・知人に外国の方がいるのですが、日本に来てから言語関係でとても苦労したらしく、私も外国の子どもたちの力に少しでもなれたらと思い参加した
- ・家族に紹介された

#### ーKFCー

- ・小学生がどのようにサッカーの試合をやるのか気になった
- ・人の役に立つことをしたいと思った。保育や福祉のボランティアはよくあるが、サッカーの試合のボランティアは初めて見たので興味を持った
- ・役に立つことをしたいと思っていてもなかなかどう行動に移せば良いのかわからなかったなので、今回良い機会だと思った
- ・自分もサッカーをしていて運営をしてもらっているので、手伝えたらいいと思った
- ・昔からボランティアをするのが好きだったし、人の役に立つのも好きだから

#### ー里山再生クラブー

- ・学校で配布された紙を見てやってみたいと思った
- ・竹の伐採が面白そうだった
- ・私有地に竹が植えられていて、毎年竹の処理方法で悩んでいたの知識を取り入れたいと思った
- ・去年参加できなかった
- ・環境について知り、役に立ちたい
- ・体験セミナーの中で、一番興味を持った

#### ー災害救助犬静岡ー

- ・車で災害救助犬の場所の前を通ったことがあり、興味があった
- ・動物が好きなので動物に関係する NPO の活動に参加したかった
- ・大学を卒業後自衛官になろうと考えており、災害派遣の際に災害救助犬と一緒に救助活動にあたったときに今回のセミナーの経験が役に立つと考えた
- ・テレビで警察犬が活躍しているのを見て、人を助けることができる災害救助犬と触れ合ってみたくと思った
- ・救助犬や警察犬の仕事をやりたいと思っていて、進路の参考になると思った
- ・動物が好きで、気になっていたところ、友達が一緒にやろうと誘ってくれた
- ・普段体験できないことで、災害救助犬訓練所の近くを通る度に気になっていた
- ・学校からもらったパンフレットを見て参加しようと思った
- ・盲導犬や災害救助犬に興味があった
- ・災害救助犬が現場とかでどのようなことをしているか気になった
- ・動物が好きなので、動物が活躍しているところを見たかった
- ・犬が好きで、犬に触れたかった。実際救助犬を生で見たことがなく、どのような訓練をしているのか気になった
- ・動物が好きでテレビで災害救助犬を見てどんな犬が活躍しているか興味があった
- ・ペットを飼った経験がなく、災害救助犬について知りたかった
- ・NPO のチラシを見て体験してみたいと思った
- ・犬が好きで、学校でセミナー参加募集の紙を見た
- ・友人が前回の活動に参加した話を聞いたことと単純に犬が好きで面白そうだと思った
- ・将来の夢である消防士に少しは関わりのあることだと思い、関心がわいた。また、犬が好きで、楽しく学べそうだった
- ・犬が好きで、去年応募したけど、台風？で中止になってしまったのでリベンジ
- ・学校のポスターを見て、犬が好きだから
- ・犬が好きだから

#### ーうまのあとー

- ・近所に住んでいて馬がいるのを見ていて気になっていた
- ・観光地などで乗馬体験などを見るがなぜ菊川市でやろうと思ったのか気になった
- ・馬が好きなので学校でセミナー案内を見て、参加したいと考えた
- ・動物を飼うという経験なく、体験してみたいという思った

#### ーアートコラールきくがわー

- ・文章を書きたいと思った
- ・馬が見たかった。文を書く人の話を聞きたかった
- ・記者さんの仕事が知りたかった

- ・楽しそうだった。文章を書くのが苦手なので少しでも上手になりたかった
- ・いつもおじいちゃんが朝、新聞を持ってきてくれて、たまたま新聞紙を読んだら、どうやって書いたのだろうと思った
- ・文章の書き方、インタビューの仕方を知りたかった。メディア系の学部に興味がある
- ・文章を書く力を高めたかった
- ・まちづくり講座で知り合いになったから
- ・魅力的な記事や文章の作り方を知りたかった。新聞記者の仕事や記事の作り方に興味があった

#### —COCO—

- ・将来の夢につながると思った
- ・私の近所でも高齢の方が増えてきているので、30年以内にくると言われている南海トラフ地震にも備えて、防災について学ぼうと思った
- ・姉が障がい者で小さい頃からたくさんの障がい者の子供を見てきた（ダウン症）。小さい頃防災訓練をしたとき、姉や障がい者の子はどうやって避難するのだろうか？自分にできることは無いだろうかと思い、障がい者と防災について考えるこのプログラムに参加した

#### —傾聴・お話しボランティア—

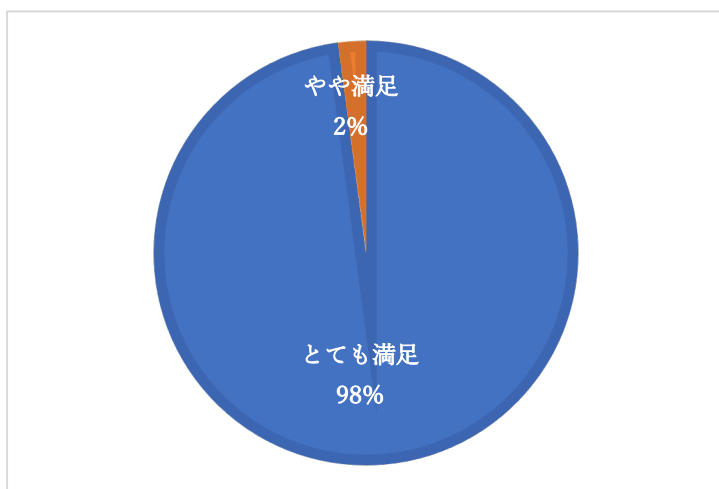
- ・ボランティアが好き（人の役に立つことが好き）
- ・ボランティアのことを知りたかった
- ・先生に言われて「人生が豊かになる言葉」みたいなことがプリントに書かれていて、その言葉が気になった。福祉に興味があった。
- ・将来看護師になりたい。そのために今のうちからボランティアや講話を聞いて、介護のことについてもっと知って将来につながることがしたいと思った
- ・ボランティアなどのことについて知りたかった
- ・高齢の方とお話する機会があまりなく、人生の先輩としてお話をして、考えを深めたいと思った。そして傾聴という言葉は初めて聞いたので興味があった
- ・「傾聴」という言葉を初めて聞き、「傾聴」とはどういうものなのか知りたいと思った
- ・高校の掲示板を見て
- ・市で行う活動に活かさないかと参加した。話を聞いたかった
- ・宮城会長のご紹介
- ・自分自身のコミュニケーションの輪を広げたいと思った
- ・正しいコミュニケーションの仕方を学ぶことで、社会人になって活かしたい
- ・ボランティアのことについて知りたいと思った。学校の授業で福祉について知り、もっと知りたいと思った
- ・学校で福祉(ボランティア)のことについて学んで、興味をもった。最近ボランティア を始めた
- ・少しでもボランティアのことを知って自分の日々の生活をより良いものにし、日々の生活の中に生かしたい

- ・最近いろいろなボランティアに少し興味をもった。夏休みに入る前、学校で福祉のことについて話を聞き、ボランティアとはどんなことかなど詳しく知りたいと思った
- ・福祉の仕事に興味があった。祖母が看護師をしていたため、祖母に憧れをもっている
- ・福祉のことをもっとよく知って自分が少しでも協力して力になりたい
- ・将来の夢のことをもっと知る為に、ボランティア、コミュニケーションの基礎を学びたい

ーせんがまち棚田倶楽部ー

- ・友だちに誘われて参加した
- ・昨年学校で田植えや田起こしをやったため、もう1度やってみたいと思った
- ・いつもおばあちゃんの畑を手伝っていてそのルーツで参加しようと思った
- ・棚田に興味があり、見て活動したいと思った
- ・きくがわまちづくりスクールに参加したときに NPO 体験があることを知った。自分の家の近くにある棚田について理解を深めたい

2. 本日のセミナーの感想はいかがでしたか。



|       |    |
|-------|----|
| とても満足 | 94 |
| やや満足  | 2  |
| やや不満  | 0  |
| 不満    | 0  |
| 計     | 96 |

～とても満足の理由～

ー静岡教育フォーラムー

- ・算数を教えたけれど、教え方を変えなければいけないことがあり、そこがおもしろかった
- ・違う国籍の子供たちと一緒に勉強するなかで、日本人の子供たちとは違った伝え方をすることが新鮮だった
- ・子どもが大好きなので、いっしょに考えることができ、とても楽しかった
- ・小さな子と関わることでいつも以上に丁寧に教えることができた



- ・いつ、どこで、何をすればいいか、しっかりと教えてくれ、外国人の子どもたちに数学をおしえてあげられた
- ・楽しく教えることができた
- ・普段体験できないようなことができた。みんな元気よく授業を行っていて、楽しく手伝いができた
- ・みんな真剣に勉強に取り組んでいてすごいと思った。少しでもその学びの手伝いができてよかった。もっと長い時間ボランティアができればよかった。
- ・たくさん話せたし、日本語を教える大変さを知った
- ・日本語を教えるのは予想以上に難しかったけど楽しく教えることができた
- ・わからない日本語を少しでも教えられた気がして、うれしかった。言葉が全て通じなくても気持ちは通じ合えたと思う
- ・算数を教えるのが楽しかったし、いつもはできない体験ができた
- ・みんな日本語は難しいのにがんばろうとしているところに勇気づけられた。教える、しかも、自分が常識としていることをなので上手に教えられるかを体験し、コツをつかんだ
- ・子供たちと触れ合えた。楽しかった
- ・子供たちがかわいかった。楽しかった
- ・先生たちは優しく接してくれて、本当によかった
- ・人に教える難しさやいろんな人との交流ができてとても楽しかった
- ・子どもたちに勉強を教えて、理解してくれると嬉しかった。休みの日時間に子どもたちから話しかけられて、一緒に遊んだことがとても楽しかった
- ・日本語を使ってコミュニケーションを取ろうとしてくれてとても嬉しかった
- ・子どもたちとたくさんコミュニケーションをとることができた
- ・実際に子どもたちと勉強したり休み時間に触れ合ってみたりすることで、短時間ではあったが、とても仲良くなれて、改めて子どもが好きだなと感じた
- ・みんなたくさん話しかけてくれて、たくさんお話しできて、とても楽しかった
- ・たくさんの子たちとお話できて、私が教えて分かってくれた時とてもうれしかった
- ・とても活発な子が多く、すぐに打ち解けることができて良かった。また、子どもたちにどう上手く教えればいいのか難しく四苦八苦した
- ・通常の行動、ではなかったが、とても楽しかった

#### —KFC—

- ・試合がとても白熱していて、見ている僕も楽しめた
- ・子どもたちががんばる姿を見て元気をもらえたし、みんなかわいくて、楽しかった
- ・子どもたちの元気な姿を見ることができ、自分たちが手伝いに来たはずなのに、私たちが元気をもらうことができ、とても楽しかった
- ・いつも私たちに協力してくれている先生やマネージャーなどのお大変さを知ることができた

- ・暑かったですけど、スタッフのみなさんがとても優しい人が多く、3時間という時間を楽しく過ごすことができた

#### ー里山再生クラブー

- ・竹をどのように粉にするか分かった
- ・竹の伐採をすることができた
- ・小学生以来の体験になったので楽しかった
- ・とても楽しかった
- ・竹を切ったり、運んだり、粉を袋に入れたりなど多くの経験ができた
- ・竹を切ったり、運んだり、粉にしたり普段できないことを体験できた

#### ー災害救助犬静岡ー

- ・災害救助犬について知ることができた
- ・犬と触れ合うことができて楽しかった
- ・においだけで人を見つけられるなんてすごいと思った。犬がかわいかった!!!
- ・あまり訓練の様子などを見る機会がないので、今日の体験はとても参考になった
- ・犬種や性格によって探し方が違うことを知って面白いと思ったし、自分も犬と一緒に何か役に立ちたいと思った
- ・実際に救助してもらったり、災害救助犬について知り、良かった
- ・たくさんを知ることができ、犬とも触れ合うことができた
- ・どのような訓練をしているのか間近で見ることができた
- ・普段のようにはいかなかったみたいだけど、救助犬がどのようなことをして人を見つけるのかを間近で見れた
- ・実際に隠れてみて、時間がかかってもちゃんと見つけてくれた
- ・危険な場所でも自ら探しに行っているのですごいと思った
- ・普段は体験できないことを体験させてもらえていい経験になった
- ・犬がかわいかった。災害救助犬の座学がためになった
- ・災害救助犬を見るのは初めてだったので、見れて良かった
- ・自分が隠れている所を見つけてくれた
- ・実際の活動に近いものを見ることができ、貴重な体験になった
- ・説明を聞くだけでなく、体験しながらで分かりやすかった
- ・今まで知らなかったことを知ることができた。救助犬の訓練や活動を知った
- ・実際に体験でき、知らなかった犬のことについて知ることができた。触れ合いが楽しかった
- ・救助犬が人を助けている様子を体験できた
- ・救助するところを見れたし、触れ合えたので良かった

#### ーうまのあとー

- ・普段関わることのない馬と関わることができ、乗ることもできてとても楽しかった。
- ・また、講師の方々もとても優しくわかりやすく教えていただけたので面白かった。
- ・分からないことだらけで不安だったのですが、スタッフの方々優しく指導してくださったので、とても楽しくセミナーを進めることができた
- ・馬に乗ったり、なでたりするだけでなく、うんちの清掃をしたり、馬の体を掃除したり大変なことまで学べたので、いい経験になった

#### ーアートコラールきくがわー

- ・取材方法と文章の書き方を分かった
- ・自身の知らないことや目的のことが見れた。満足
- ・想像していたよりも多くのことが学べた
- ・本物の記者さんに自分の記事を直してもらえてうれしかった。最初より上手に記事を書けてうれしかった
- ・実際の取材や本物の記者の方に助言などをいただいてうれしかった
- ・記者の方に自分の書いた文章を直してもらえる機会はなかなかないので貴重な体験になった
- ・色々なことを聞くことができた
- ・インタビュアーの気持ちが知れた
- ・自分の文章に実際の新聞記者の方からアドバイスをいただけたので、自分に足りないものや改善点を知れた
- ・馬や牧場がとても魅力的だった

#### ーCOCOー

- ・防災のグッズの確認や「障がい者の人の目線」から考えることはなかったので貴重な体験だった
- ・発電機は、家にもガソリンタイプがあるのですが、自分で起動させたことはなかったのでいざという時のためにも勉強になった。また、ビデオを観て災害時一人でもできることは何か考えるきっかけになった
- ・みんな優しく話やすかった。自分が今まで体験してなかったことがたくさんでき、新たな発見が沢山あってとても興味深かった

#### ー傾聴・お話しボランティアー

- ・ボランティアのことや傾聴をわかりやすく丁寧に教えてくれた
- ・詳しく教えてくれた
- ・ボランティアのことで、聴くこと、これから役に立つことをたくさん聴くことができた。興味をもったり、やってみたいと思った
- ・ボランティアや傾聴の魅力や大切さをわかりやすく話していただいた
- ・ボランティアの4原則、聴く時の7つのポイントなどのことを知ることができた
- ・傾聴の意味やボランティアとは何か知ることもできた

- ・初めて聞くこと、知ることがたくさんあった。スライドが見やすかった
- ・ボランティアについて深く知れ、傾聴は聞きなじみのない言葉だったので、どんなのだろうか知れて良かった
- ・「傾聴」って「なんやろな」を「傾聴ってこれか！」と理解できた
- ・「ボランティアへの参加」「傾聴」中高生にとって重要な気づきがあるセミナーだと感じた
- ・学校や会社などのコミュニティの中で、人に対する接し方、話し方、聞き方はとても重要だと思っており、今日のセミナーの中で、正しいやり方を学ぶことができた
- ・自分が知らなかったことや初めて知れたことがたくさんあった。今日話を聞いて、もっとたくさん知りたいと思った
- ・自分にはなかった知識を知れ、考えが膨らんだから。それと今自分が思っていることと一致したり、自分も共感しやすく、理解が深まった
- ・自分の知らない知識を知れてとてもうれしかった。今日教わったことをしっかりと使えるようにしたい
- ・今日のお話を通して知らなかったことを知ることができて良かった。お話を通してさらに興味をもった
- ・人生の中で大切なことを教えてもらったから。うなずいて話してくれた。

#### ーせんがまち柵田倶楽部ー

- ・田んぼにいる生物について学べた。ザリガニの中身も見れて楽しかった。草刈りもどんどん削っていき楽しかった。白くて目が赤いカニグモも見れて良かった
- ・この前わからなかった生物などが知れた
- ・普段見られない生きものがたくさん見られた
- ・想像していたよりも柵田のスケールが大きく驚いた。色々な生物を観察することができた
- ・草刈りやその後の生き物教室で、自分の知らない生き物を見て、実際に触れることができて、せんがまちについて新しいことをたくさん知れて良かった

#### ～やや満足の理由～

##### ー傾聴・お話しボランティアー

- ・自分が気づけなかったことや知らなかったことを知ることができた。コロナが収まっていたら、グループワークをやりたかった
- ・詳しくわかりやすかった

3. 特に印象に残ったことや、気づきや学び、今後に活かせるようなことをご記入ください。

#### ー静岡教育フォーラムー



- ・人に教えるということは、その人にとって変えなければいけないということを知ったので、教え方をたくさん持ちたい
- ・日本語をたくさん書いていてすごいと感じた。日本語がわからない子たちに教えるのは日本語を母国語としない子どもたちにとっては普段使う単語の1つ1つをよりかみ砕いて説明する必要があることがわかった。目線を合わせて、全身を使って説明する必要があることもわかった
- ・一緒にジェスチャーを使って教えるように工夫するとわかりやすいと思った
- ・外国人でしかも子どもだったので、難しくなく、簡単な言葉で表現する力が身についた
- ・日本人の子に教えるより難しかったけど、教えて「わかった」と言ってくれる子がいたからうれしかった
- ・日本語があまりわからない方々に日本語以外の算数を教えるとき、どんな言語を使ったらよいか悩んだが、理解してくれると嬉しくて楽しかった。海外の方に上手に道案内できそう
- ・人の役に立つことの楽しさを実感した。今後もボランティアなどがあれば参加したい
- ・高校生以上の学習に対しての熱意を感じた。みんな素直でとても良い経験をさせていただいた。自分まで元気をもらえた。みんな笑顔で楽しそうで、私自身も人の役にたてることの楽しさを感じた
- ・日本語やカタカナ、数学を外国人の子どもたちに教える大変さを知ることができた
- ・子どもたちに日本語を教えるのは思っていたよりも難しかった
- ・なるべく簡単な日本語を言うようにしたけど、その日本語を知っているのかが分からなくて難しかった。Main話しかけてくれてとてもいい子が可愛かったです。
- ・年齢が違っても普通に話したり、遊んだりすることができた。みんな割と自主性があつたような気がするから、自分もそういう力をもっていきたいと思った
- ・人に教えることの難しさを学んだ。伝えたいけど、上手く伝わらないこともあった
- ・ハキハキ話そうと思った
- ・日本語を教えるのは結構難しかった
- ・実際にやってみたら、とても難しかった。表現しづらい所もあった
- ・相手に伝えることがとても難しかった。どうしたらわかりやすく伝わるか今後に活かしたい
- ・菊川市には外国人が多いから、今日のことを活かして道がわからない人とかがいたら話せたらいいなと思う。私が外国に行っても普通に話したりできないし、ここまでがんばれないと思うから、日本の学校に行くために学んでいてすごいと思った
- ・難しくても自分で考えたり、人に聞いたりしていてすごかった。たくさんコミュニケーションを取れて良かった
- ・小学生と話すことは私にとって珍しいことでしたが、子どもたちにとっても珍しいことであると気づくことができた。やはり、普段話さない人と話すことは子どもでも緊張することがわかり、私から積極的に話しかけることが大切だと思った
- ・数学のプリントの内容を教えるときに普段自分が使っている「だから」「だけどさ」「この中でさ」という言葉が伝わらなく、簡単な日本語を使ってみたり、わかりやすいように言い換えてみたら案外伝わって嬉しかった。小さい子目線に立って話してあげると心を開いてくれることも嬉しかった
- ・みんなとても日本語が上手で、一生懸命伝えようとしてくれてよかった

- ・外国人の子どもたちと話すことができ、たくさん話しかけてくれることがとてもうれしかった。どうやって言ったら分かってくれるかとか考えながら教えることができ、今後に活かそう
- ・特にあいさつなどの固有名詞を教えるのがとても難しかったので、次はジェスチャーを使ったり、ハッキリ発音したりして、子どもたちにしっかり理解してもらえるようにしたい
- ・小さい子への接し方など

#### ーKFCー

- ・小学生がみんなでパスをつないでゴールするのが印象に残った。僕も今後チームワークを大事にしようと思った
- ・初めて会った私たちにも元気に挨拶してくれ、自分の気持ちがすごく明るくなった
- ・自分たちが想像している以上に子どもたちは元気で、たくさんのパワーをもっているなど感じた
- ・運営をしてくださっている人の大変さを知ることができたので、良かった
- ・こんなに暑くても子どもたちが一生懸命ボールを追っていたし、声も出ていたのに気づき自分の出ている試合の時には子供たち以上に声を出し、動こうと思った

#### ー里山再生クラブー

- ・竹の粉を詰める作業で、暑い中とても丁寧にできた
- ・竹を粉にすることによって活用でき、環境にやさしいことが分かった。
- ・竹は土にかえりづらく、竹を細かく粉碎すれば様々な用途として生かせると学んだ
- ・竹の種類が色々あったこと、竹の活用がとても優秀だったこと
- ・竹を切るのが一番難しくて印象に残った
- ・暑い中作業をするから、適度な水分補給をする

#### ー災害救助犬静岡ー

- ・災害救助犬に見つけてもらったときにとてもうれしかった。普段犬と触れ合う機会がないので、とても印象に残った
- ・小屋の上のほうに隠れていたのに目ではなく、においだけで見つけてもらったのがうれしかった。一生懸命、合図通りに行動する災害救助犬がかっこよかった
- ・犬にも性格がそれぞれあって、たくさん誉めてあげることが大事と分かった
- ・救助者を助けるためににおいをかぎ分けて必死に探している姿がとてもすごいと思った。見つかった人もとても嬉しく感じたと思う
- ・犬は自分が思っていたよりも賢く、嗅覚がとても鋭いということを知り、すごいなと思った。飼い主が言ったことを必ずやっている姿がとても素敵だなと思った
- ・目が合っても吠えない子がいてなんでかなと思った。ゴールデンとかの大型犬ばかりかと思っていたけど、小さい子もいて驚いた

- ・大袈裟に褒めることが重要
- ・どの犬種でもなれるけど、攻撃的じゃなかったり、犬同士でけんかしないことは大切
- ・隠れているところでも人を見つけることができたとき、とても感動した
- ・飼い主の言うことをしっかり聞いて行動している犬の姿を見てかっこいいと思った
- ・犬の見えていないところに隠れても、発見することができて感動した
- ・印象に残ったことは、実際の現場再現だけど、色々駆け回って人を見つけたこと
- ・人を見つけたときに人を襲わなかったり、ちゃんと人に近づく道を考えたりしていてすごかった
- ・災害の時には消防の方以外にも救助犬が人助けしているのがすごいと思った。実際に試してみても褒めることが大切であると思った
- ・実際に隠れて探される側になってみて、もし本当にそういう状況になったら怖いだらうなと思った。がれきの中にもどンドン行かなくてはいけない犬の訓練は大変だと思った
- ・災害救助犬が具体的に何をしているのかがわかった。犬にも災害救助犬に向いている、向いていないがあることがわかった
- ・わかりにくい場所でも見つけてくれたので良かった
- ・何か出来たら必ず褒めること→人間関係においても何かしてもらったら感謝を伝えることが大切だと思った
- ・人がいるところを探したらすぐに吠えるのかと思っていたので同じところを何度も搜索していて驚いた。犬を救助犬にする訓練はとても大変だとわかった
- ・犬が人を探す際、鼻で最初探すのではなく、まず目で探す。そして、見つけたら吠えて知らせる。また、何か達成したらご褒美をあげる
- ・犬が隠れている自分や人を探し、見つけられた時。嗅覚が想像よりすごかった
- ・やることを達成できたら盛大にほめてあげる
- ・人間の呼吸やにおいで人を見つけることができる
- ・触れ合えたのがとても良かった

#### ーうまのあとー

- ・馬によってふんのおいが違うのは知らなかったもので、驚いた。また、馬に乗った際に乗っている人の緊張が伝わると言っていたのでなかなか繊細な生き物だと思った
- ・短い時間ではあったが、とても癒されたのでまた会いに来たい
- ・馬と人とは言葉で意思を伝えることができないので、馬のしぐさや耳などを見て、相手が嫌がることをしないように気をつけなければならないと学んだ
- ・相手の心を読み取ることは、馬だけでなく人間関係においても大切なことだと今回のセミナーを通じて学んだ
- ・馬という動物は一人の力だけで世話をするのではなく、みんなで世話をしなければならないという大変さに気づいた

#### ーアートコラールきくがわー

- ・今後文章を書くときに活かそう

- ・体言で止めることを初めて知った。新聞の文章が切られることあると思ってなかった
- ・文章の書き方と記事の構成などを学べたことがこれから活かそうと思った
- ・数字を使うと文の説得力が上がるということ。一番伝えたいことを文の最初に書くということ
- ・記者の方がいつも気をつけていることを実際に聞いてやってみたら、色々見方が変わったと思った
- ・質問は「5W1H」
- ・取材に行って、そこから記事を書くことはなかなかないので、貴重な体験ができた
- ・記事の書き方
- ・わかりやすい文章や色々な書き方のコツを知れたので、これから書く時などにも活かしていきたい。新聞の文章にも注目していきたい

### —COCO—

- ・防災のこと、障がい者の方のことを知れたのでそういう人に会ったら、困っている人がいたら、助けたいと思った
- ・いつかくると言われている大地震でも、ついつい防災グッズを備えておくのは後でも良いかなと思いがちだが、今回、備品チェックをしたり、簡易トイレを組み立てたりして見て、私も個人的に防災グッズを備えておかなければと思った。
- ・最初にビデオを見た時、視覚障がい者の方は杖を地面から話してしまうととても不安になるなど、その人が歩くため、話すために何が大切なのかを見分けて臨機応変に行動することが大事だと思った。ぞうさんでは、自分ではできなかつたら必ず誰かに頼るという当たり前のようであたり前でないことをぞうさんではあたり前のようにできていて凄いと思った

### —傾聴・お話しボランティア—

- ・ボランティアアラルカルトがたくさんあるんだと知った。「聞く」と「聴く」の違いを知ることができた。7つの聴くポイントを活かして聴けるようにしたい
- ・聞くのテストで10にいけなかったなので、これからしっかり話を聴けるようにしたい
- ・ボランティアの4原則で「自発性」や「無償性」など学校生活でもできることばかりで驚いた。「聞く」と「聴く」の違いを知って、普段から「聴ける」ようにしたい
- ・ボランティアは自分自身を成長させる鍵となり、相手の話を傾聴して聴くことであんなにも話がはずむんだと分かった。今後、ボランティア活動をたくさんし、社会に貢献したい
- ・聴く時の7つのポイント、ボランティアの心得などは今からでも活かそうと思った
- ・ボランティアとは自分自身の向上であり、「誰でも、どこでも、いつでもできる」ものだということを知った。そして、聞き上手になるには、親身になって心で話を聴くことであり、それがコミュニケーション能力を高めることだとわかった
- ・相手が一番に考えることが大切だと感じた。「傾聴」は今後、普段の生活にも生かせることだと思うので、今日学んだことを思い出し、生活していきたい



- ・ボランティアの心得や4原則を今後のボランティア活動に生かしていきたい
- ・ネットなどで発言する人が増えるなか「人の話を聞く(聴く)」ということを活かしていきたい。個人と向き合う難しさも学べた
- ・太田さんが見るからに聴き上手で、私も太田さんのような聴き上手になりたいと感じた
- ・そもそものボランティアの定義やボランティアのあり方を再確認することができた。ボランティアの心得や話すときの7つのポイントはこれからの生活で生かしていきたい
- ・ボランティアは自分自身のためにもなるということ、傾聴のことについて、ポイントやチェックテストなどで自分のチェックできていないところができるようにしていきたい
- ・私が今後すぐに行動できそうだなと思ったのは、周りの人のことを思い、助け合い、共感、共に喜びを感じる事だと思った。ほんの少しの思いやりでも人、自分も変わると思うし、過ごしやすくなると思った
- ・「聞く」と「聴く」の違いが知れてうれしかった
- ・傾聴の時に知った7つのポイントを知れて良かった
- ・共感が印象に残った。社会人になってもとても大切なことだと思う
- ・ボランティアは誰もが幸せになれる大切なことで、これからもっと社会がより良くなるように進んで協力していきたい
- ・聴くことが人の安心につながる事が分かった。これからは人の話を今まで以上によく聴き、誰かにとって話しやすい存在になりたい

#### 4. 今後体験してみたいNPO活動やボランティア活動があれば教えてください。

##### ー静岡教育フォーラムー

- ・英語を使って勉強を教えてあげたい
- ・今回のような誰かに教えてあげる活動があればやりたい
- ・馬のお世話
- ・人と関わり、人の役に立てたと実感できるようなボランティアに参加したい
- ・子どもに勉強を教えることがとても楽しかったので、子どもたちと関わることをしたい
- ・救助犬
- ・また外国人の子どもに日本語サポートをするボランティアに参加してみたい
- ・今日のような違う国の人と関わってみたり、幼稚園、保育園の子たちとの交流をしたい
- ・もう何回でもここでまたやりたいです!!
- ・今回の活動をもう1度参加したい
- ・もう1度この活動に参加したい
- ・子供の交流などいろんなボランティアをしてみたい
- ・外国人と関わる活動をしてみたい
- ・人とコミュニケーションをたくさんとれるようなボランティアをしてみたい
- ・コミュニケーションをとることができる活動に参加したい

- ・外国から来た子どものサポートをまた体験したい
- ・また機会があれば、外国の子どもたちと関わる活動をしたい

#### ーKFCー

- ・色々な人と関われる活動
- ・保育や福祉など、人とたくさん関わることのできるボランティアなどに参加したい

#### ー里山再生クラブー

- ・馬のお世話体験
- ・保育の職場体験
- ・子どもと触れ合うボランティア

#### ー災害救助犬静岡ー

- ・もし災害救助に関する NPO 活動があったら参加したい
- ・たくさんの動物や色々な人と関わることができる活動をやってみたい
- ・児童保護所の体験をしてみたい
- ・今日の救助犬の体験のように人を助ける仕事の体験を今後していきたい
- ・今度は少しだけ自分で指示して一緒に探したい
- ・盲導犬とか警察犬のボランティアに参加してみたい
- ・NPO の体験をやりたい
- ・ゴミ拾いや警察犬の訓練
- ・馬の体験。動物に関わること

#### ーうまのあとー

- ・新聞記者体験
- ・災害救助犬
- ・動物と関わるボランティア

#### ーアートコラールきくがわー

- ・あるもの全部いければいきたい
- ・より多くの人と関わることをやってみたい
- ・馬のふれあい体験会
- ・さくらさんのお仕事しているところを見たい
- ・実際に取材したり、現地に行ってみる活動はとても楽しみながら学んでいけると思う

## ーCOCOー

- ・また来年機会があれば障がい者と防災について考えるこの活動に参加してみたいです。
- ・名前は全然わからないが障がい者の方（ダウン症の子）と関われるボランティアを体験してみたい

## ー傾聴・お話しボランティアー

- ・地域ボランティアで身の回りの人や環境を守っていききたい
- ・ボランティアって本当にいろんな活動があるので、まずはいろいろと探してみたい。その中でも災害とか国際の活動が気になった
- ・障がい者との交流
- ・実際に傾聴ボランティアをやってみたい
- ・自分の都合がつく限り、全てのボランティア活動や NPO 活動に参加していききたい
- ・障がいをもっている人と関わってみたい
- ・障がいをもった人と関わってみたい
- ・町おこしに関わりたい。今回のことを生かし、傾聴のボランティアにも参加したい

## ーせんがまち棚田倶楽部ー

- ・もう1度この体験をする
- ・またこの活動をしてみたい。子どもに日本語を教えるということをやりたい
- ・生物の観察や、地域の人、学生と交流できる活動

## V. 実施団体アンケート結果

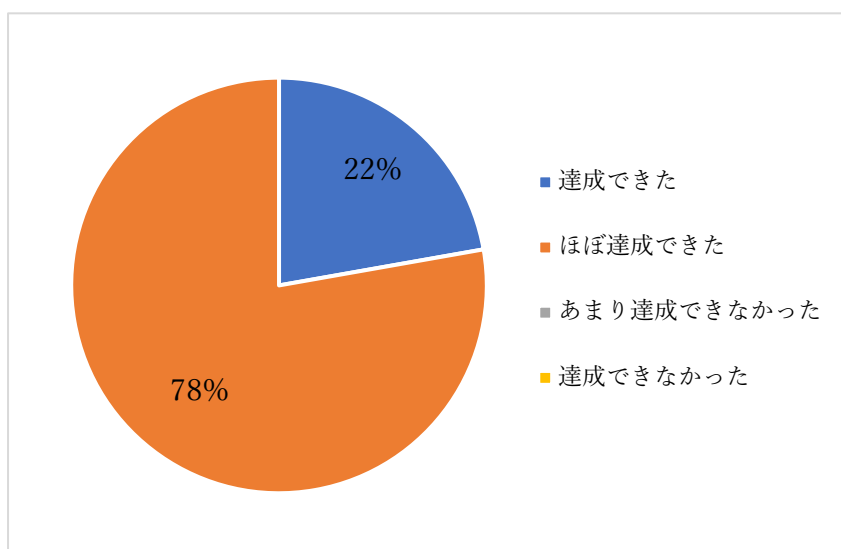
### 1. 中高生 NPO 体験セミナーを実施しようとした理由や目的を教えてください。

- ・虹の架け橋教室の存在を知ってもらうこと。  
「よく見かけるけど遠い存在の外国人」ではなくもっと身近に感じて、共生するにはどうしたらいいのか？を考えてくれる人を1人でも増やしていきたい。  
実際に外国籍児童生徒がどんなことが分からなくて困っているのか？  
コミュニケーションをとるにはどうしたら良いか？を体感してほしい（静岡県教育フォーラム）
- ・サッカーを通し、NPO の活動を知っていただく事。また、多くの小学生のプレーを見ていただき、何か役に立つことがあればと思った（KFC）
- ・放置され荒廃が進んでいる地域里山の現状把握。里山再生整備の必要性の周知。竹の活用（里山再生クラブ）
- ・菊川市からの協力要請を受け、受諾。前段階で、NPO についての教育もしてくださり 学生たちも理解した中で、救助犬を選択して思っている。実際に、見る、隠れる、触れ合う事でより理解を得ら

れるとともに、是非とも、次世代に繋がっていきるとうれしい（災害救助犬静岡）

- ・地域活動に積極的に参加してもらいたいと思い、少しでもその手伝いができるばと考えている（うまのあと）
- ・中高生に普段接する機会が少ないNPOの取り組みを知ってもらい、体験してもらうことで社会貢献活動を身近に感じてもらいたい。また、現地での取材や新聞記者から記事の書き方を教えてもらうことを通して、地域の魅力に気付くきっかけづくりにつなげたい。（アートコラールきくがわ）
- ・災害時の障がい者避難について知ってほしい（COCO）
- ・これからの社会を担う学生に、人を大切に、安全、安心する社会の構築を真剣に考えて載きたい（傾聴・お話しボランティア）
- ・柵田保全活動をより多くの人に知ってもらう（せんがまち柵田倶楽部）

## 2. 中高生 NPO 体験セミナー実施の目的は達成できたと思いますか。また、その理由を教えてください。



|             |   |
|-------------|---|
| 達成できた       | 2 |
| ほぼ達成できた     | 7 |
| あまり達成できなかった |   |
| 達成できなかった    |   |

### ●達成できた

- ・不参加の生徒が一人も出なかった。コロナ禍ではあったが、応募に対して責任を果たして出席してくれた。色々なタイプの学生さんが居たが、皆さん良い子たちはかりで、親しみを持って接してくれた。（災害救助犬静岡）
- ・中高生の生き生きと地域で活動する姿が見られたこと。積極的に地域に関わりたいと思う中高生に元気をもらえた。また、新聞記者やNPO法人うまのあとさんなどが当団体の体験セミナーに快く協力してくれたことが中高生の活動の幅を大きく広げることに繋がった（アートコラールきくがわ）

### ●ほぼ達成できた

- ・まず、虹の架け橋教室の存在、小中学校へ転入する前にどんな勉強をしているのかを知ってもらえた。日本語でコミュニケーションをとるためにどう伝えたら良いかを体感してもらえた。  
そこから見える課題も違

う視点で持ってもらえたと思う（静岡県教育フォーラム）

- ・コロナの影響で思うような活動をお願いできなかったことが残念だった（KFC）
- ・限られた時間（9時～11時）での座学と現場体験の難しさ（里山再生クラブ）
- ・体験としての目的は達成できたと感じるが、継続して参加してもらえるような工夫が必要だと感じる（うまのあと）
- ・用意したメニューを時間内に行うことができた（COCO）
- ・アンケート、感想等を記載した学生たちが、学んでくれた事柄を受け入れ、自分本人が自ら所有して、これからの自分に役立ててくれた（傾聴・お話しボランティア）

### 3. 参加者の反応など気付いた点や、今後に活かしたい点がございましたらご記入ください。

- ・生徒と触れ合う時間をもう少し増やしたい。担当を決めてマンツーマンでじっくりサポートに入った方が、より課題をつかんでもらえたかもしれない（静岡県教育フォーラム）
- ・今後、中学生、高校生とのかかわりが持てたらと思う（KFC）
- ・作業（①ノコギリでの竹の伐採 ②伐採竹の運搬 ③竹紛の袋詰め等）。初めて体験した、ノコギリでの竹伐採、竹紛作りその活用に興味大⇒ 野外体験セミナー等の充実（里山再生クラブ）
- ・日常ではあまり知ることのできない災害救助犬を見てもらう事が出来、その能力についても 実際に見て、体験する事によって、災害に対する思い、防災について考えてくれれば、主催して良かったと思う（災害救助犬静岡）
- ・話をしながら体験をしてもらったが、みなさん菊川市が好きだ！暮らしやすい！と言っていた。地元愛のある若い世代が育っていると感じます（うまのあと）
- ・今回はコロナ禍で参加者人数が限られてしまったが、予想以上に参加希望が多かったため、NPOが企画する際に、①定員 ②最少人数 ③最大人数を決めた方がセンターの手間が省けるのではと思う（アートコラールきくがわ）
- ・静かな生徒さんたちだったと思う。まじめな態度で作業に向き合っていた（COCO）
- ・参加する学生が積極的である。気付いたことは、行動（実践）している。できる限り多数の学生に情報を知っていただく方法を検討中（傾聴・お話しボランティア）
- ・素直でかわいかった（担当した学生談）。嫌がることなく黙々と作業した。生き生きと全体的に楽しそうだった（せんがまち棚田倶楽部）

### 4. 今後の中高生 NPO 体験セミナーに向けて、実施方法などについてのご意見をお聞かせください。

- ・今回はコロナ禍ということもあり半日しか受入れできなかったが、出来れば一緒に昼食をとり昼休みに遊んで距離を縮めて欲しい（静岡県教育フォーラム）
- ・時期（春、秋）を選んだ体験セミナー（里山再生クラブ）
- ・例年通り（災害救助犬静岡）
- ・夏休みの期間だけでなく、もう少し長めにとっても対応できる。参加者の受付や連絡などをやってもらえるので大変助かる。屋外が主体なので雨天時の受け入れ体制を整えたい。（うまのあと）



- ・中高生が自身の好きなこと、興味のあることを認識できる事前学習会は必須だと感じた。そのうえで参加することで、参加意欲も高まり、新しい自分を発見するなど充実した活動につながると感じた（アートコラールきくがわ）
- ・一回のみの出会いでは、心残りを感じてしまう。何か手立てがあれば良いのですが…。久しぶりに若者との会話を楽しんだ（COCO）
- ・広報に依り、情報提供して下さるお陰で、私たち法人が訪問しても学校側が協力してくださるので、同様に行っていく予定である。ありがとうございました（傾聴・お話しボランティア）

## VI. 所感

コロナ禍において、人数・時間制限などの対策をしながら市内 13 の NPO 法人の協力を得て開催した。緊急事態宣言に伴い後半の 5 つのプログラムは中止したが、申込み者数が延べ約 150 人、昨年度の 6 倍以上と急増した。中高生に社会貢献を身近に感じてもらうことを目的に開催したが、菊川市の中高生の社会貢献への関心の高さや地域に対する思いは、県内外の NPO からも驚きの声が聞かされるほどだった。今後も、日ごろから高校との連携や人材育成講座の開催、多目的エリアを利用する学生との交流を通じて、若者参加の地域づくりを推進していきたい。